

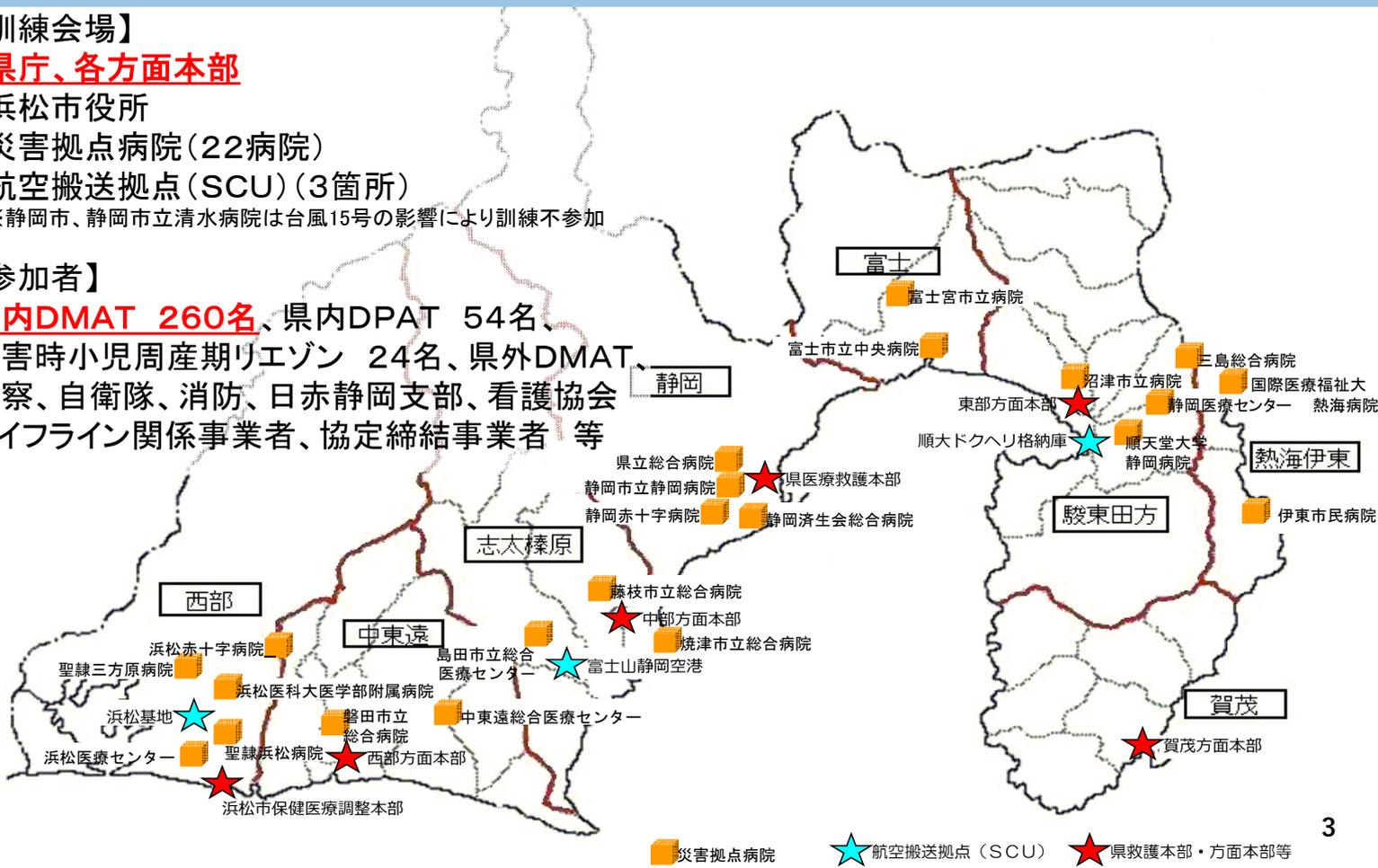
大規模地震時医療活動訓練の概要②

【訓練会場】

- ・**県庁、各方面本部**
 - ・浜松市役所
 - ・災害拠点病院(22病院)
 - ・航空搬送拠点(SCU)(3箇所)
- ※静岡市、静岡市立清水病院は台風15号の影響により訓練不参加

【参加者】

県内DMAT 260名、**県内DPAT 54名**、**災害時小児周産期リエゾン 24名**、**県外DMAT**、**警察、自衛隊、消防、日赤静岡支部、看護協会**、**ライフライン関係事業者、協定締結事業者** 等



訓練の内容 (医療救護本部・方面本部)

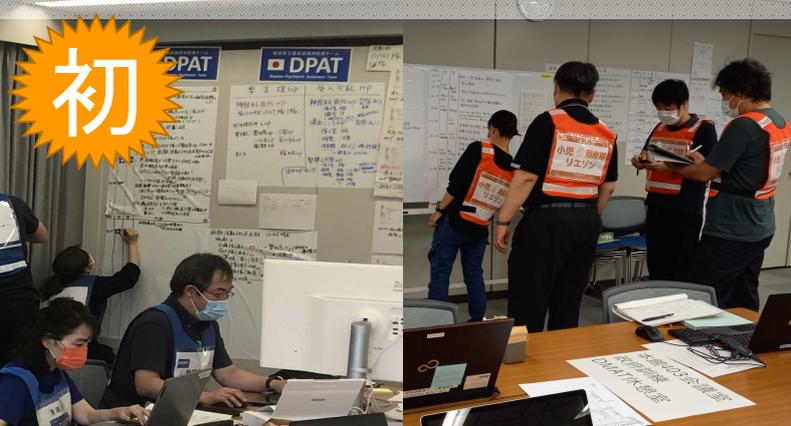
医療救護本部(県内外のDMATが活動)



賀茂方面本部(初めてDMATが活動)



関係医療チームとの連携(DPAT・災害時小児周産期リエゾン)



西部方面本部(薬剤師コーディネーター等が参加)



訓練の内容 (富士山静岡空港 S C U)

静岡空港SCU指揮所(県内外のDMATが活動)



自衛隊ヘリによる患者搬送訓練



厚生労働省と連携した医療用コンテナの実証実験



空路にて参集した県外DMATの受付



訓練の内容(その他の訓練)

ドクターヘリ格納庫での患者搬送訓練(順天堂静岡)



浜松基地での日赤無線機を使用した通信訓練



医薬品・医療用資機材の確保訓練



DPATによる病院避難訓練



訓練検証会（課題・解決に向けた方向性）

日時：令和4年11月14日（月） Web（全国のDMAT等約100名が参加）
内容：参加者が、課題解決に向けた方向性等をディスカッションした

【主な成果、課題、解決に向けた方向性】

○医療救護における県・政令市（浜松市）の連携、指揮命令系統の確立

【成果】県調整本部をはじめ、DMAT活動拠点本部、3師会との連携を確認

【課題】訓練時、病院からの救助要請が2パターン発生（西部方面本部向けと浜松市向け）
⇒ **政令市を含む連絡・要請フローを整理し、関係機関との共有を図る**

○本県独自の方面本部体制について周知徹底

【成果】方面本部にDMATリエゾンを配置し、方面本部に集約される情報を収集

【課題】方面本部体制は本県独自の制度。他県DMATにはわかりづらい

⇒ **県外DMATとの連携強化のため、方面本部体制を県内DMATに周知徹底**

7

訓練検証会②

○医療救護班本部（西館4階）に医療チーム・被災情報等を集約

【成果】各医療チームの活動状況や道路状況等の被災情報を円滑に共有できる体制を構築

【課題】県内病院の被災状況の収集など、チーム間で作業が重複

本部全体の効率的な運用に向け、連携体制の見直しが必要

⇒ **他チームとの連携を担当する役割の新設、本部レイアウトの変更等を検討**

○初めて賀茂地域（賀茂方面本部）にDMATを派遣

【成果】初の訓練であり、通信手段の確保や地域の状況把握、県職員との連携等を確認

【課題】他地域への搬送手段の確保・DMATの投入方法

賀茂地域特有の課題解決に向け、関係機関との連携強化が必要

⇒ **医療救護訓練において、賀茂地域へのDMAT派遣を継続実施**

（第6回緊急消防援助隊全国合同訓練では下田会場にDMATが空路（仮想）で参加）

「防ぎえる災害死」を1人でも減らすため、災害時にも医療を提供するための万全の備えを講じていただくよう、皆様の御理解と御協力を心からお願いいたします。

